

沼津市立病院広報誌

numa

capital

ぬまピクル

vol.16
Jan.2021



小児の危険について

小児科部長（兼）新生児科部長

村林 督夫 医師



profile

1993年日本大学医学部を卒業。日本大学板橋病院での勤務を経て、2003年7月から当院へ勤務。趣味はウクレレ。

（専門）

・一般小児科・新生児科

（役職・資格）

- ・日本小児学会代議員
- ・日本新生児成育医学代議員
- ・日本小児科学会小児科専門医
- ・日本周産期・新生児医学会 新生児指導医
- ・NCPR（新生児蘇生法）インストラクター
- ・静岡県災害時小児周産期リエゾンメンバー
- ・日本小児科学会静岡地方会理事
- ・臨床研修指導医
- ・静岡県小児救急研究会世話人
- ・静岡県東部臨床小児懇話会会計
- ・FICT（ふじのくに感染症専門医協働チーム）東部担当

お母さん、お父さんに一番知ってほしいこと。小児なら誰にでも起こりうる危険な病気について、小児科部長（兼）新生児科部長の村林医師が解説します。

Q・SIDSってなに？

A・2歳未満の健康な赤ちゃんが突然心肺停止し、亡くなってしまう疾患を、乳幼児突然死症候群（SIDS）といいます。奇病のようですが、0歳児の死亡原因の第3位を占めるほど多い疾患です【表】。

発症率を高める因子が判明しています。①うつぶせ寝、②受動喫煙、③人工乳栄養です。

①うつぶせ寝は、窒息の原因にもなるので、必ず仰向けで寝かせてください（SIDSは窒息ではありません）。

②同室内に喫煙者がいると、赤ちゃんも喫煙したことになり

【表. 小児の死亡原因】

	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳
1位	先天奇形 及び染色体異常	先天奇形 及び染色体異常	悪性新生物	悪性新生物
2位	呼吸障害	不慮の事故	不慮の事故	自殺
3位	乳幼児突然死 症候群	悪性新生物	先天奇形 及び染色体異常	不慮の事故
4位	不慮の事故	心疾患	肺炎	先天奇形 及び染色体異常
5位	出血性障害	肺炎	心疾患	心疾患

ます。保護者、おじいちゃん、お客さんなど、赤ちゃんに接する人は禁煙してください。禁煙出来ない場合は、室外で喫煙すること。それでも衣服にタバコの煙がしみつくので抱っこは避けてください。

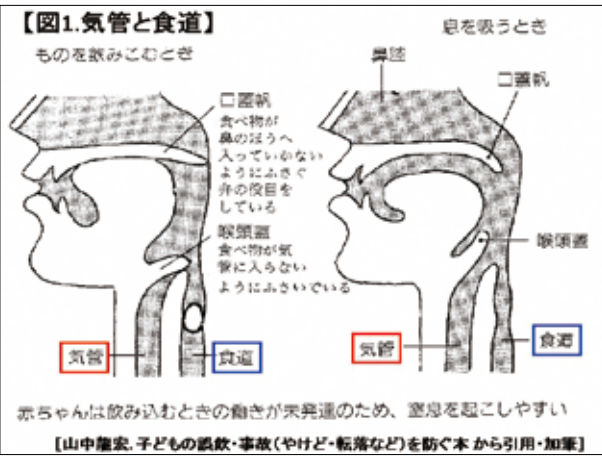
③人工乳栄養は、様々な理由で母乳を与えられない場合がありますので、やむを得ない面があります。

お子さんを本症で亡くした昭和の横綱・千代の富士は体験を本にされています。リスクを避けることが重要ですが、万が一心肺停止した場合は、救急要

請と同時にご家族で人工呼吸、胸骨圧迫を行うと生存率が高まることも覚えておいてください。

Q・異物誤飲・誤嚥の危険性は。

A・小児は食べ物でなくても、何でも口に入れてしまいます。異物が食道に落ちることを異物誤飲（消化管異物）、気管に落



ちることを異物誤嚥(気道異物)と呼びます【図1】。どちらも危険ですが、異物誤嚥では窒息を起こし、5分間で脳死に至り、亡くなることもあります。

誤飲・誤嚥する異物は、タバコ、硬貨、ボタン電池、画鋲など、身の回りにあるものです。【図2】



ピーナッツを誤嚥した場合、気道で水分を吸って膨張し、咳込み、呼吸苦、顔色不良へと除々に増悪します。ピーナッツが

危険なことをご理解いただき、小学校入学まで食べさせないでください。異物誤飲・誤嚥で受診する際、必ず病院にお電話をください。来院中の応急処置を指示出来る場合があります。

また、異物の成分がわかるもの(袋や能書など)をご持参ください。自宅に取りに帰る時間はないことが多いです。

Q・予防接種の必要性は。

A・稀に予防接種を受けないという方を診ます。「予防接種は20世紀の医学で最大の発明」という先生もいます。天然痘ワクチンが普及し、地球から天然痘という疫病が消滅しました。これほど有益な科学はありません。発熱した小児が急に顔色が悪くなり、心肺停止で病院に運ばれ、蘇生を行うという経験が年に2、3件ありました。つい数年前までのことです。患者さんは亡くなるか、低酸素のた

め脳性麻痺になることが大半です。原因は肺炎球菌、インフルエンザ菌(インフルエンザウイルスとは別)による細菌感染症です。2007年、この2種の細菌に対する予防接種の開始以降、前述のような患者さんはほぼ診なくなりました。現在この2種類の予防接種は公費補助が下りません。予防接種も薬品なので副作用がないとは言いませんが、極めて稀な副作用を心配して、接種しないという選択はあまりに非科学的です。

アイドルのライブで、ワクチン未接種のファンに「はしか」が広まったことがありました。はしかは脳炎を起こし、亡くなることもあります。予防接種をしないで生活するのは危険であり、小児の将来を思うと気の毒です。予防接種をしない、あるいは疑問のある方は、医療機関にご相談にいらして下さい。

PICK UP

新型MRIを導入しました!! 高画質と高速化を提供!

お知らせ

病院ホームページを昨年の11月2日にフルリニューアルしました!!



フィリップス社製 1.5T MR Ingenia 1.5T Evolution を導入しました。この装置は、従来よりも精度の高い画像が取得できるだけでなく、最新の機能により多様な撮像ができるようになりました。

スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末からでも見やすく分かりやすいレイアウトになりました。ぜひ、ご覧ください。



【装置の特徴】

ノイズが少なく高いコントラストの画像を取得でき、従来のアナログシステムと比較して、高分解能・高画質を実現しました。体動や金属といった歪みを補正するアプリケーションの充実により、MRI検査の適応患者が拡大し、また、より多くの診断情報を得られるようになりました。

【患者さんのメリット】

装置のデジタル化や高速撮像技術による短時間での撮像と、静音機能や快適性を向上させた寝台マットレスの搭載により、従来拘束時間が長くストレスの多かったMRI検査を、より快適に受けることができます。頭の検査であれば、検査時間は15分程度です。

今号の表紙

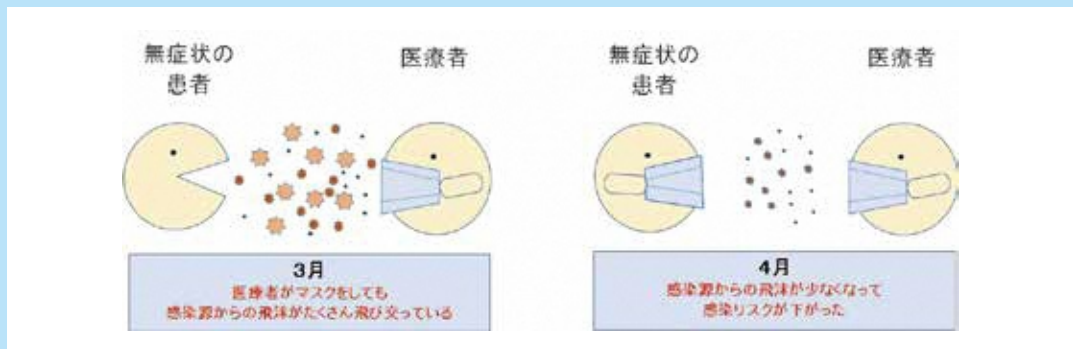
小児科の患者さんを
支えるスタッフ!!



PICK UP

マスクは他者への感染を防ぐ・・・ マスクの話「ユニバーサスマスキング」

2020年3月から4月にかけて新型コロナが大流行していたアメリカのある病院で、3月には医療従事者に、その後4月には患者にもマスク着用を義務化し、双方がマスクを着用したところ、医療従事者の新型コロナの感染率が低下したそうです。



これは、多くの人がマスクを装着することで、感染のリスクは大きく下がるという事実です。これを、ユニバーサスマスキングと呼びます。新型コロナも、インフルエンザも、「自分が人にうつさない」という姿勢で、マスクを装着して対策しましょう。



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 市民のために 共に歩む病院 —

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル vol.16」
発行：広報委員会・病院管理課企画係
ぬまピタルバックナンバーはこちら →



〒410-0302 沼津市東椎路字春ノ木 550 番地
Tel：055-924-5100（内線 2370）

Mail：byoin-so@city.numazu.lg.jp

ホームページアドレス：https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp/